HOKURIKU

第 **77** 期
中間報告書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

北陸電気工業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は平成22年9月30日をもって第77期上半期を終了いたしましたので、当社グループの営業の概要ならびに中間決算につきましてご報告申し上げます。

■ 当中間期の概況

当中間期における世界経済は、中国などアジアが好調に推移したほか、米国が穏やかに回復し、わが国も輸出や個人消費が増加基調となりました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、世界景気の回復と新興市場の拡大を背景に、デジタルAV機器、携帯電話、自動車関連機器向けに需要の回復が続いたことから、電子部品受注は総じて好調に推移しました。

こうした状況の中で、当社グループ（当社および連結子会社）は、引続き固定費の抑制を図りながら生産性の向上を推し進めるとともに、主力の電子モジュール事業におきまして、8月2日に、(株)住友金属マイクロデバイスと事業統合を行ないました。

その結果、当中間期における当社グループの業績は、売上高28,289百万円（前年同期比68.5%増）、営業利益1,470百万円（前年同期は営業損失118百万円）、経常利益1,075百万円（前年同期は経常損失218百万円）、中間純利益798百万円（前年同期は中間純損失326百万円）となりました。

■ 財政状態

当中間期における総資産は、事業統合を行なったこともあり、前期末比で、受取手形及び売掛金の増加を主因に、6,235百万円増加しました。

また負債は、支払手形及び買掛金が3,052百万円増加し、有利子負債も706百万円増加したことから、合計では4,410百万円の増加となりました。

純資産につきましては、前期末比で、株主資本が、中間純利益により798百万円増加し、配当により243百万円減少したほか、自己株式の処分により1,299百万円増加したことなどから、1,851百万円増加しました。また、株価下落と円高に伴い、評価・換算差額等が367百万円減少し、事業統合を主因に少数株主持分が341百万円増加したことにより、純資産合計としましては、前期末比で、1,825百万円の増加となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、税金等調整前中間純利益が1,009百万円、減価償却費が706百万円となりましたが、売上債権が増加し、仕入債務が減少したことを主因に、営業活動によるキャッシュ・フローは、188百万円の支出となりました。

また、投資活動によるキャッシュ・フローは、事業統合における子会社株式の取得を主因に1,186百万円の支出となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加706百万円と自己株式の処分による収入1,299百万円を主因に、1,601百万円の収入となりました。

なお、中間配当につきましては、財務体質の強化を図る観点から、遺憾ながら見送らせていただきたいと存じます。何卒ご了承承賜りますようお願い申し上げます。

通期の見通し

急激な円高に加え、景気刺激策の効果息切れに伴う需要の減速も懸念され、下期の経営環境は不透明さを増しております。

当社グループといたしましては、徹底した生産性の向上を図るとともに、より一層のグローバル展開と競争力の強化を推進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中間連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	25,878	流動負債	19,239
現金及び預金	7,082	支払手形及び買掛金	13,358
受取手形及び売掛金	12,313	短期借入金	3,875
商品及び製品	1,025	未払法人税等	233
仕掛品	3,820	賞与引当金	404
原材料及び貯蔵品	370	その他	1,367
繰延税金資産	710	固定負債	11,198
その他	595	社債	50
貸倒引当金	△41	長期借入金	6,730
固定資産	16,866	繰延税金負債	455
有形固定資産	11,264	退職給付引当金	3,226
建物及び構築物	3,256	その他	736
機械装置及び運搬具	4,335	負債合計	30,438
土地	3,379	(純 資 産 の 部)	
その他	292	株主資本	11,531
無形固定資産	136	資本金	5,200
投資その他の資産	5,466	資本剰余金	5,626
投資有価証券	2,766	利益剰余金	1,350
繰延税金資産	2,016	自己株式	△645
その他	728	評価・換算差額等	△738
貸倒引当金	△46	その他有価証券評価差額金	△368
		繰延ヘッジ損益	△36
		土地再評価差額金	607
		為替換算調整勘定	△941
		少数株主持分	1,513
資 産 合 計	42,744	純資産合計	12,306
		負債・純資産合計	42,744

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 中間連結損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	28,289
売上原価	24,468
売上総利益	3,821
販売費及び一般管理費	2,350
営業利益	1,470
営業外収益	79
受取利息及び受取配当金	44
その他	34
営業外費用	474
支払利息	104
債権売却損	43
為替差損	243
その他	82
経常利益	1,075
特別利益	126
前期損益修正益	72
固定資産売却益	1
負のれん発生益	29
その他	23
特別損失	193
固定資産除却損	29
投資有価証券評価損	80
損害賠償金	76
その他	7
税金等調整前中間純利益	1,009
法人税等	196
少数株主損益調整前中間純利益	812
少数株主利益	13
中間純利益	798

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ (要約)中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	1,009
減価償却費	706
売上債権の増加額	△1,874
たな卸資産の減少額	291
仕入債務の減少額	△915
その他	595
営業活動によるキャッシュ・フロー	△188
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△177
投資有価証券の取得による支出	△1,159
その他	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増額	637
長期借入金の純増額	68
自己株式の取得による支出	△3
配当金の支払額	△243
自己株式の処分による収入	1,299
その他	△157
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,601
現金及び現金同等物に係る換算差額	△216
現金及び現金同等物の増加額	10
現金及び現金同等物の期首残高	5,806
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,816

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 中間連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等					少数株主分
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰上償却	延滞利益	土地評価差額金	為替換算調整勘定	
前期末残高	5,200	5,719	795	△2,035	9,679	△167	△38	607	△773	1,172	
当中間期変動額	—	△93	554	1,390	1,851	△200	1	—	△168	341	
剰余金の配当			△243		△243						
中間純利益			798		798						
自己株式の取得				△3	△3						
自己株式の処分		△93		1,393	1,299						
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△200	1		△168	341	
当中間期末残高	5,200	5,626	1,350	△645	11,531	△368	△36	607	△941	1,513	

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結決算ハイライト

売上高

経常利益

中間(当期)純利益

一株当たり中間(当期)純利益金額

純資産額

自己資本比率

平成22年度上期 製品分類別売上高構成比 (百万円)

平成22年度上期 地域別売上高構成比 (百万円)

会社の概況 (平成22年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 250,000,000株
 発行済株式の総数 92,500,996株
 株主数 12,300名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数
住友金属工業株式会社	7,647 千株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,556
株式会社 北陸銀行	2,314
株式会社 北國銀行	2,183
北電工取引先持株会	1,947
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,923
前田建設工業株式会社	1,648
株式会社 ホクタテ	1,465
北電工従業員持株会	1,356
株式会社 富山銀行	1,315

(注) 1. 当社は自己株式3,541千株を所有しておりますが、上記大株主の状況から除外しております。
 2. 株主数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

所有者別分布状況

会社概要

社名	北陸電気工業株式会社
英文社名	HOKURIKU ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD.
所在地	〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地
T E L	076-467-1111
F A X	076-468-1508
U R L	http://www.hdk.co.jp/
設立	1943年(昭和18年)4月4日
資本金	5,200百万円
事業内容	固定・可変・チップ等各種抵抗器、圧力・加速度・湿度等各種センサおよびハイブリッドIC、モジュール製品、ペーストスルーホール基板等各種電子部品の開発・製造・販売、その他の事業

取締役および監査役

代表取締役会長 野村正也
 代表取締役社長 津田信治
 代表取締役専務 野村和雄
 常務取締役 能登博文
 取締役 廣瀬茂
 取締役 中塚登
 取締役 谷川聡
 常勤監査役 神田充
 監査役 北之園雅章
 監査役 河口脩一
 監査役 坂本重一

(注) 北之園雅章、河口脩一、坂本重一の各氏は、社外監査役であります。

製品紹介

MEMS技術をコアとしたセンサ群

[3軸加速度センサ]

3×3×1mm Max. と業界最小クラスサイズで、アナログ出力タイプ・デジタル出力タイプを取り揃えております。最新のデジタル出力タイプのHAAM-375は、消費電流が従来比4分の1と省エネ設計で、しかも3つの割り込み信号出力端子を設け、画面切替、落下検知、Wake up等の各種機能を割り付けることができるため、アプリケーション開発の工数を大幅に軽減できます。

[用途]

携帯電話の画面切替やモーションセンシング、電子コンパスの補正用、ノートパソコン等に搭載されるHDD（ハードディスク駆動装置）の保護用、その他電子辞書、カロリーメーター、ゲーム機コントローラー、ドライブレコーダー等幅広い製品に欠かすことのできないキーデバイスとして使用されております。

[フォースセンサ]

小型フォースセンサ

小型・薄型で10N以下の微小荷重検知が可能なセンサです。モバイル機器等のタッチパネル用のタッチセンサとして期待されており、画面の透過率を損なわずに組付けでき、しかも荷重の強弱を感知できるため、表示の多機能化や誤動作を防止するアプリケーションが可能です。

[圧力センサ・圧力センサモジュール]

圧力センサ

気圧センサモジュール

デジタル出力タイプ
水位センサモジュール

ピエゾ抵抗式の圧力センサです。センサ単体をはじめアンプ内蔵のアナログ/デジタル出力タイプのモジュールをラインナップしており、ガス圧検知用や、洗濯機や給湯器用の水位センサ、更には気圧センサや血圧計用等各种圧力検知用に使用されております。

JAXA 認定 チップ抵抗器

当社のチップ抵抗器が、2009年7月15日付で、宇宙開発用信頼性保証チップ形薄膜抵抗器として、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の認定を取得しました。対象となる製品は、1608サイズ、2012サイズ、3216サイズ、3225サイズ、5025サイズの5品目で、いずれもJAXAの認定基準をクリアしています。

当社では、1982年から角板形チップ抵抗器を製造販売しており、今回のJAXAの認定取得で、改めて当社のチップ抵抗器の高信頼性および製品開発力が評価されました。

■ 主要製品

[モジュール製品]

カーナビゲーション用液晶モジュール

ノートパソコン用液晶モジュール

携帯電話用液晶モジュール

先端実装技術を駆使したモジュール製品。液晶テレビ、カーナビゲーション、ノートパソコン、携帯電話等に使用されている液晶のコントロールモジュールです。その他自動車電装用モジュール、各種機能モジュールも製造しております。

[各種センサ]

湿度センサ

自動車用センサ

快適な生活空間に欠かせない湿度センサ。エアコン、加湿器等の生活家電の他、事務機器等幅広い分野で使用されています。また、自動車用センサは、安全性と快適性を実現する高精度かつ高信頼性な製品です。

[ペーストスルーホール基板]

銀・銅ペーストスルーホール基板

ますます電子化が進展する自動車。当社のペーストスルーホール基板は、民生用電子機器の他、自動車のメーターパネル用としても使用されております。

[高周波部品・圧電部品]

無線モジュール

圧電部品

携帯電話に代表されるように今や生活に欠かすことの出来ない無線通信。当社では、無線LANモジュールや特定小電力無線モジュール等、各種無線通信用の部品を製造しております。また、独自の圧電材料技術に、積層技術を付加した圧電積層スピーカ等の圧電部品は、他方式と比べ小型・薄型で、しかも低消費電力で環境にやさしい製品です。

[各種チップ部品]

各種チップ部品

デジタル家電や携帯電話、生活家電等の製品に欠かせない各種チップ部品。当社では0402サイズの超小型チップ抵抗器の他、チップネットワーク抵抗器、チップ半固定可変抵抗器、また電流検出用チップ低

抵抗器、耐硫化チップ抵抗器、耐サージチップ抵抗器、高電力チップ抵抗器（長辺電極チップ抵抗器）等の高機能チップ抵抗器、その他チップタクトィールスイッチ等各種チップ部品を取り揃えております。

[機構部品]

タクトィールスイッチ

デジタル家電、OA機器、生活家電、通信機器等あらゆる機器に使用されているスイッチ。当社のタクトィールスイッチは、独自の接点構造により接触安定性に優れており、お客様から高い評価を得ております。

HOKURIKUグローバルネットワーク

株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
一単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.hdk.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ご案内

INFORMATION

記載の中間連結財務諸表等の詳細につきましては、当社のホームページのIR情報の決算情報にてご覧いただけます。

<http://www.hdk.co.jp/>

北陸電気工業株式会社

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地 TEL.076-467-1111 FAX.076-468-1508
3158 Shimo-okubo, Toyama-City, Toyama Pref. 939-2292, JAPAN

この冊子は植物性インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。